

Bluetooth®を使用する

Bluetooth®について

Bluetooth®とは近距離における無線通信技術です。Bluetooth®対応機器同士であれば、約10m以内で無線通信を行うことができます。E30HTのBluetooth®には3つのモードがあります。

- **オン:** E30HTは他のBluetooth®対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
- **オフ:** このモードでは、Bluetooth®を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、病院内などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所ではBluetooth®をオフにしてください。
- **検出可能:** Bluetooth®がオンになっており、他のBluetooth®対応機器がE30HTを検出できます。



memo

- お買い上げ時はBluetooth®はオフになっています。Bluetooth®をオンにした状態でE30HTの電源を切ると、Bluetooth®もオフになります。E30HTの電源を入れると、Bluetooth®は自動的にオンになります。

■ Bluetooth®機能のバージョンとプロファイル

本機のBluetooth®機能のバージョンとプロファイルは以下の通りです。

対応バージョン	Bluetooth®標準規格 Ver.2.0+EDR準拠*1
出力	Bluetooth®標準規格 Power Class2
対応プロファイル*2	SPP (Serial Port Profile) HSP (Head Set Profile) OPP (Object Push Profile) BPP (Basic Printing Profile) PAN (Personal Area Networking Profile) HFP (Hands Free Profile) 1.5 A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) HID (Human Interface Devices) PBAP (Phone Book Access Profile) SDAP (Service Detection Application Profile)

*1 本機を含めすべての Bluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth® SIGの規定に基づいた適合試験によってBluetooth®標準規格の認証を取得していますが、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

*2 Bluetooth®の通信手順（プロトコル）を製品の特性ごとに標準化したものです。

■ Bluetooth®機能に関するお願い

良好な状態で接続できるように、以下の点にご注意ください

- 他のBluetooth®機器との接続は、見通し距離約10m以内で行ってください。本機と他の Bluetooth®機器との間に障害物があると、接続距離は短くなります。また、ご使用の環境（壁や家具など）や建物の構造によっても接続距離は短くなります。
特に、鉄筋コンクリート製の建物では、間に鉄筋が入った壁があると、上下の階や隣接する部屋同士でも接続できないことがあります。したがってまして上記接続距離を保証するものではないことをご了承ください。
- 電子レンジ・AV機器・OA機器、デジタルコードレス電話機・ファックス、およびその他の電気製品からは2m以上離して接続してください。特に電子レンジによる影響を受けやすいため、必ず3m以上離してください。近くでこのような機器に電源が入っていると、正常に接続できなかったり、テレビやラジオに雑音や受信障害が発生する場合があります。特にUHFや衛星放送の特定のチャンネルでは、テレビが乱れることがあります。
- 放送局や無線機など強い電波を発するものが近くにあり、接続が困難なときは、接続先の Bluetooth®機器の場所を移動してください。強い電波が周囲にあるときは、正常に接続できないことがあります。

■ ワイヤレスLANとBluetooth®との電波干渉について

Bluetooth®機器とワイヤレスLAN(IEEE802.11b/g)は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。このため、ワイヤレスLAN機能を搭載した機器の近くで Bluetooth®通信を使用すると、電波干渉によって通信速度の低下や雑音が発生したり、接続が困難になる場合があります。以下のような方法で対処してください。

- Bluetooth®による無線通信を行う本機およびBluetooth®機器は、ワイヤレスLANと10m以上離してください。

- Bluetooth®による無線通信を行う本機および Bluetooth®機器を、ワイヤレスLANから10m以内で使用する場合、ワイヤレスLAN の電源を切ってください。

■ Bluetooth®をオンにし、E30HTを検出可能にする

- 1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Bluetooth]をタップ
- 2 [モード]タブで[Bluetoothをオンにする]と[このデバイスを他のデバイスからも検出できるようにする]をチェック
- 3 [ok]をタップ

Bluetooth® パートナーシップ

Bluetooth® パートナーシップ (ペアリング) とは、E30HTと他のBluetooth®対応機器との間で安全なデータ通信を行うための接続関係です。

Bluetooth® パートナーシップを確立する

- 1 [スタート]→[設定]→[接続]タブ→[Bluetooth]をタップ
- 2 [デバイス]タブ→[新しいデバイスの追加]をタップ
E30HTが他のBluetooth®デバイスを検索し、一覧に表示します。
- 3 任意の名前をタップ→[次へ] をタップ
- 4 安全な接続を確立するため、パスコードを指定→[次へ]をタップ
パスコードは1~16文字で設定します。
- 5 相手のデバイスがパートナーシップを受け入れるまで待つ
パートナーシップを受け入れる側も、送信側と同じパスコードを入力する必要があります。
パートナーシップが確立すると、相手のデバイスの名前が表示されます。この名前は任意に変更できます。
- 6 ペアリングしたデバイスから使用するサービスをチェック
- 7 [保存]をタップ

Bluetooth® パートナーシップを受け入れる

- 1 Bluetooth® がオンになっており、検出可能モードであることを確認
- 2 他のデバイスからパートナーシップの要求を受けたときに、[はい]をタップ
- 3 パスコード(パートナーシップ要求側が入力したものと同一パスコード)を入力
パスコードは1~16文字です。
- 4 [次へ]をタップ
- 5 [完了]をタップ
以上でペアリングした相手とデータ通信ができるようになります。



memo

- ◎ Bluetooth® パートナーシップの名前を変更するには、[デバイス]タブでパートナーシップをタップしたままにして、ポップアップメニューで[編集]をタップします。
- ◎ Bluetooth® パートナーシップを削除するには、[デバイス]タブでパートナーシップをタップしたままにして、ポップアップメニューで[削除]をタップします。

Bluetooth®ヘッドセットを接続する

ハンズフリー通話には、Bluetooth®対応のハンズフリーヘッドセットをご利用ください。

E30HTはBluetooth®でのステレオオーディオを実現するA2DP (Advanced Audio Distribution Profile)に対応しています。このため、E30HTでBluetooth®ステレオヘッドセットを使用し、通話したり、音楽を聴くことができます。

■ Bluetooth®対応ハンズフリーまたはステレオヘッドセットを接続する

1 E30HTとBluetooth®ヘッドセットの両方がオンになっていること、通信範囲内にあること、検出可能となっていることを確認

ヘッドセットを検出可能モードに切り替える方法については、メーカーの取扱説明書をご参照ください。

2 [スタート]→[設定]→[接続]タブをタップ

3 [Bluetooth]→[デバイス]タブ→[新しいデバイスの追加]をタップ

E30HTが他のBluetooth®デバイスを検索し、一覧に表示します。



4 Bluetooth®ヘッドセットの名前をタップ→[次へ] をタップ

5 [完了]をタップ

memo

◎ Bluetooth®ステレオヘッドセットが切断された場合は、ヘッドセットをオンにして、1～3の操作を繰り返します。Bluetooth®ステレオヘッドセットの名前をタップしたままにし、ポップアップメニューから[ワイヤレスステレオに設定]をタップします。

Bluetooth®で情報をビームする

Bluetooth®対応のパソコンやデバイスに転送することを「ビーム」と呼びます。E30HTでは、連絡先、予定表のアイテム、仕事などのデータ、およびその他のファイルを転送できます。



- ◎ パソコンにBluetooth®機能が搭載されていない場合は、Bluetooth®アダプタをご使用ください。
- ◎ パソコンによっては、Bluetooth®の設定方法が異なる場合があります。

■ E30HTの情報をパソコンにビームする

1 E30HTのBluetooth®をオンにし、検出可能に設定
方法については、「Bluetooth®をオンにし、E30HTを検出可能にする」(▶P.115)をご参照ください。

- 2 以下の操作に従って、パソコンのBluetooth®機能および検出可能モードをオンにする**
- パソコンのコントロールパネルから[Bluetoothデバイス]を開き、[オプション]タブをクリックします。
 - Windows Vistaの場合は、[Bluetoothデバイスによる、このコンピュータの検出を許可する]を選択します。
Windows XPの場合は、[発見機能を有効にする]と[Bluetoothデバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する]を選択し、
ます。
 - E30HTとパソコンの間で Bluetooth®パートナーシップを確立します。パートナーシップの確立方法については、「Bluetooth®パートナーシップ」(▶P.116)をご参照ください。
 - [Bluetoothデバイス]の[オプション]タブで、[Bluetoothアイコンを通知領域に表示する]を選択します。
 - Bluetooth®によるビームを行うには、パソコンの画面の右下にあるBluetooth®アイコンを右クリックして、[ファイル受信]を選択します。

3 E30HTでアイテムをタップしたままにし、ビームを行う
連絡先や予定表、仕事、画像、その他のファイルなどをビームできます。

4 連絡先をビームするときは[メニュー]→[連絡先の送信]→[ビーム]をタップ
その他の情報をビームするには、[メニュー]→[(アイテムの種類)をビームする]をタップします。

5 ビーム先のデバイス名をタップ
相手のパソコンにファイルがビームされます。連絡先などのOutlookアイテムをビームした場合は、パソコン側のMicrosoft Outlookで[ファイル]→[インポートとエクスポート]をクリックして、手動でファイル取込を行ってください。



- ◎ パソコンにBluetooth®機能が搭載されていない場合、コントロールパネルに「Bluetoothデバイス」アイコンは表示されません。
- ◎ パソコンにBluetooth®機能が搭載されている場合でも、コントロールパネルに[Bluetoothデバイス]アイコンが表示されず、他の方法を利用している場合があります。
- ◎ ビームで受信したアイテムが保存されるデフォルトフォルダは、Windows XPではマイドキュメント、Windows Vistaではドキュメントとなります。
- ◎ E30HTでビームを受信するには、[スタート]→[設定]→[接続]タブ→[ビーム]をタップし、[すべての着信ビームを受信する]にチェックを入れます。